

2020年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	ポートフォリオ(学びの履歴)を用いた学びの精緻化とFLIP(フューチャー・ローカル・イノベーター・プレゼンテーション)の開催	
実施組織 (または対象のカリキュラム)	キャリア教育・サポートセンター	
※連携する他学部・機関がある場合は記入	グローバル教育推進センター、環境マインド推進センター	
実施責任者(所属)	勝亦 達夫 (キャリア教育・サポートセンター 助教)	
取組の目標	<ul style="list-style-type: none"> ① インターンシップセミナーや「評価ルーブリック」を継続し実装する ② より学びたい学生に向け課題解決型のインターンシップを展開する ③ 「学びの履歴書(キャリアレポート)」を精緻化(elaboration:自分で自分に説明できるようにする)し、他者へ伝える媒体として充実する ④ 学生と企業等が交流する機会として、FLIP:フューチャー・ローカル・イノベーター・プレゼンテーションを開催 	
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<ul style="list-style-type: none"> ① コロナ禍で思うような対面の活動ができない中、オンラインツールを活用し、課題解決インターンシップを実施。その事前、事後評価としてルーブリックを活用したが、項目が当てはまらない点もあり、実情に合わせた評価指標を整備した。 ② 企業と相談しながら課題の設定が進む学生と、なかなか活動できることが定め切れず課題設定に苦労をした学生もいたが、その点も含め主体的な学修につながった。 ③ 客観的評価などをまとめられるフォーマットを活用し、提出物としてキャリアシートを提出してもらった。活動の経過を、活動風景などを交えて説明でき、自身のポートフォリオとしてもプレゼンシートでも活用できた。 ④ 2021年3月18日にFLIP2020を、オンラインを併用して開催した。2,3年生の進んだ取り組みをモデルとして発表をしてもらうことで、後輩の学生の見本となるプログラムを示すことができた。 	
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望 (達成の度合いを選び、そう評価する理由と今後の展望を記述)	a. 達成できた	<p>(評価理由)</p> <p>「より学びたい、より専門性を活かしたい」と考える学生に取り組みの機会を充実することで、他の学生にもモデル的な学びの姿を示してくれた。今後は、これらを広く普及することが目標となるが、アダプティブにそれぞれに学生の課題意識や成長のステップに合わせて機会やサポートを提供できる環境を整えることができた。今後実施してきながらますます精緻化していき、他部局にも共有していく。</p> <p>(今後の展望)</p> <p>構築したセミナー、評価ルーブリック、課題解決プログラム、発表の場を一連の流れのプログラムとサポートをつなげ、コロナ禍で浸透したIoTやオンラインツールを使いながら学生支援を充実したい。これまで、低年次を重点的に実施してきたものを、出口である就職や3年次のキャリア選択の機会の充実にもつなげたい。</p>